

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課長 田和 貢	電話番号	0852-22-5149
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	農村地域防災減災事業（地すべり対策事業）		
目的	(1) 対象	地すべり防止区域内に農地を所有する農家及び区域内に居住する者	
	(2) 意図	地すべりによる農地及び家屋への被害を防止することにより、県土の保全と安全安心な生活を確保する。	
事業概要	地すべり被害を防止するため、被害地域に対して地すべり防止施設の新設や改良を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	地すべり危険箇所	目標値	11,826.0	12,051.0	12,417.0	12,603.0	人
	式・定義	前年度までの保全人口数+当該年度概成（対策工が終了）箇所の保全人口数	取組目標値					
			実績値	11,577.0				
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	641,430	1,210,049
うち一般財源 (千円)	22,925	99,765

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成27年度末までに、地すべり指定区域302区域に対し185区域が概成した。（整備率61%）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成28年度は、地すべり対策事業の国費が前年に比べて大幅に増加した。
 ・平成27年度末で、下記1区域が新たに概成となった。
 下西

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 地すべり対策事業を推進していくための、予算が十分には確保できていない。
 - 地すべり防止施設が耐用年数を超過し、修繕や更新が必要な施設が増加している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 地すべり対策事業の国費が不足している。
 - 地すべり対策事業に着手して50年以上経過しており、今後、修繕や更新を必要とする施設が加速的に増加する。
- ③原因を解消するための「課題」
- 地すべり対策事業を効率的に実施していくためには、安定的な国庫補助事業予算の確保が不可欠。
 - 保全管理をより効率的に実施するためには、個々の地すべり防止施設についての定期的な機能診断や劣化予測、効率的な対策工法の検討及び機能保全計画の作成が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国予算について、当初予算での必要額の確保が図られるよう機会を捉えて国へ働きかけていくとともに、コスト削減を図る。
 ・国庫事業のみで事業費が不足する箇所は、県単事業により予算を確保し地すべり対策を推進する。
 ・地すべり防止施設を適切に保全管理していくための個別施設計画を策定し、ストックマネジメントサイクルを確立する。

9. 追加評価（任意記載）